

空間演出デザイン学科
2014



KUUDE
PASSPORT



主任教授よりメッセージ

「空デというのは、夢が勝つ！ための装置なんだ」

空デの視点は、既存する技法だけの問題を遥かに超えながら、ここを出る掛け替えのない学生たちが、いかに豊かな経験と想像力を携えて社会に分け入るかという、最も大切な個性溢れる創造性を育てながら、既成のメカニズムには納まり切れないかも知れない彼らの未来にこそあります。

たとえば舞台上での表現は、人・言葉・モノ・空間・時間など、有りとあらゆる表現の総体であり、人間やそれを取り巻く社会の現在や過去、そして未来への鏡として存在します。人が衣服をまとうように社会もまた、劇場という衣服をまといながら、さまざまな視点から自らを見つめることが出来ます。空デには、セノグラフィ（衣装デザインを含めた舞台美術全般）、インテリアデザインと環境計画、ファッションデザインという4つのプラットフォームがあります。どこをどう乗り換えながらも未来という想像力と確信に向かって走って行けます。それぞれが相互に影響し関連しながら、幾つもの異なる視点を通過する事で、新たな視野と興行きのある可能性が広がって行きます。

多くの専任教員たちが常にいる環境の中で、非常に自由な発想を手に社会へ飛び立つ卒業生たちの進路や活躍する姿がそのことを十分に伝えていきます。

「人は、なぜ劇場に行くのか？」という根源的な問いかけと同様に、「なぜ空デに行くのか？」という答えがそこにあります。

主任教授 小竹 信節

客員教授・非常勤講師

空デでは、1名の客員教授と61名の非常勤講師を招き各授業を展開しています。

客員教授／ 面出 薫

非常勤講師／ 秋山 光洋 池田 ともゆき 伊坂 重春 伊藤 淑恵 岩井 達弥
逢坂 卓郎 大沢 佐智子 大谷 義智 大山 由美子 角田 陽太 上條 桂子 亀森 一好
川端 富生 君塚 賢 日下 和夫 國時 誠 クラフト・エヴィング商会(吉田 篤弘・吉田 浩美)
小谷 壽一 眞田 岳彦 澤田 隆一 清水 早苗 庄野 泰子 信耕 ヒロ子 鈴木 親
鈴木 紀慶 鈴木 勝 鈴野 浩一 代島 多枝 高橋 豊 武石 正宜 竹中 義明 立花 文穂
谷 昌和 谷尻 誠 寺田 尚樹 遠山 正道 野老 朝雄 トースティー 中村 竜治 長峰 麻貴
根本 育洋 能美 健志 橋本 徹也 濱西 恵子 早川 誠也 原田 麻子 樋口 藍
樋口 吉徳 福田 秋雄 藤森 泰司 古川 巳代子 magma(宮澤 謙一・杉山 純) 穂谷 友子
本広 克行 山下 裕子 横川 正紀 吉田 真実 米原 康正 和田 喜夫

教員紹介

空デの10名の専任教員紹介です。セノグラフィ、インテリアデザイン、環境計画、ファッションデザインそれぞれコースに分かれて授業、ゼミナールを担当します。



セノグラフィ
Scenography

小竹 信節
Nobutaka Kotake
主任教授
舞台美術
アートディレクション



セノグラフィ
Scenography

堀尾 幸男
Yukio Horio
教授
舞台美術
小道具制作



太田 雅公
Masatomo Ota
教授
舞台衣装



空間 1
インテリアデザイン
Interior Design

五十嵐 久枝
Hisae Igarashi
教授
インテリアデザイン
家具デザイン



片山 正道
Masamichi Katayama
教授
インテリアデザイン



空間 2
環境計画
Environment Design

小泉 誠
Makoto Koizumi
教授
家具デザイン



鈴木 康広
Yasuhiro Suzuki
専任講師
アート



ファッションデザイン
Fashion Design

天野 勝
Masaru Amano
教授
ファッションデザイン



ファッションデザイン
Fashion Design

パトリック・ライアン
Patrick Ryan
教授
ファッションデザイン



津村 耕佑
Kosuke Tsumura
教授
ファッションデザイン
アート

空デ大学院

一どのようなビジョンを持って研究していますか？

大学院では“癒し”をテーマにインテリアデザインを学んでいます。社会には問題が山積みで、それらが根本的に解決しないまま進んでしまっていて、なにか曇り空のような雰囲気を感じます。世間が失敗を許さないような、神経過敏になっているようなところもあって、それに対して私がしたいことは、自分の身の周りから、小さなことからでいいので環境を整えてあたたかい空間を作っていくことだと思っています。人が安心できる、時には心踊らせるものに変えていくことで、社会全体を大きく変える行動ではなくとも徐々によい方向へ持っていくことができるのではと思います。

一空デの院はどうですか？

学部時には課題をこなすことに必死でしたが、院では自分のペースで学部の時からの研究をしながら新しいことにも挑戦できるだけの環境があります。空デは衣から住まで、あらゆる空間に対して意識を持たせてくれる学科だと思います。例えば人とのコミュニケーションの中にも空間が発生する。先日、大学院の新入生と先生方を招いて新入生歓迎会を行いました。そこでは普通の教室に布を貼って、花の中に入っていきような空間を作りました。実際に人の動きを見たり、感想を聞いて、自分のやったことを試すいい機会でした。修了制作でも自分の実感をもとに、人をあたたかくできるような空間を提示したいと考えています。

大学院 2 年生

Master



森田 あゆみさん

Ayumi Morita

担当教員：五十嵐久枝

卒業生の主な就職先

(株) 東京放送 / (株) ライティングプランナーズアソシエーツ / (株) スペース / (株) 丹青社 / (株) シミズオウト / (株) オンワード樫山 / (株) 金井大道具 / (株) 四季【劇団四季】 / (株) テレビ東京アート / (株) 日本ステージ / (株) コムデギャルソン / good design company / (株) スーパーポテト / (株) 遠藤照明 / (株) JTQ / (株) 総合舞台 / (株) ホンダアクセス / (株) フジテレビジョン / (株) H・P・フランス / (株) 卑弥呼 / (株) 45rpm / (株) エドウィン / (株) トゥモロランド / (株) アシックス / (株) 博展 / (株) BC工房 / (株) リライнс / (株) 国際装飾 / (株) 伊勢丹 / (株) 角川ヘラルド映画 / (株) 白水社 / (株) アックス / (株) 伊東屋 / (株) 船場 / (株) 日比谷花壇 / (株) CAMPER / (株) 東急エージェンシー / (株) ヨーガンレール / (株) 松竹衣裳 / (株) Casappo&Associates / (有) ICE 都市環境照明研究所 / (株) エイムクリエイツ / (株) オリエンタルランド / (株) 乃村工藝社 / (株) 中川政七商店 / (株) アディダスジャパン / (株) 岡村製作所 / 任天堂 (株) / (株) 日本テレビアート / (株) リクルートメディアコミュニケーションズ / (有) 伊藤寛アトリエ / (株) サイバーエージェント / (株) NHKアート / (株) 東京舞台照明 / KOIZUMI STUDIO / (株) 金子繁季事務所 / (株) ソスウインターナショナル / (株) ハリオガラス / (株) ラインティングカンパニーあかり組 / (有) 劇団角笛 / (株) 6D / (株) 若尾綜合舞台 / (有) KAPITAL / (株) パーニーズジャパン / (株) スマイルズ / (株) ラックランド / (株) 高島屋 / (株) グリーンディスプレイ / (株) アレックス / (株) 井田産業 / (株) ベイクルーズ / (株) トップラン・コスモ / 劇団俳優座研究所 / (株) ジ・エアー / (株) HORIO / 三菱電機照明 (株) / (株) Wonder Wall / (株) COMPLEX UNIVERSAL FURNITURE SUPPLY / (株) コマデン / (株) カッシーナ・イクスシー / (株) トランジットジェネラルオフィス / ミズノ (株) / (株) ドラフト / (株) ファーストリテイリング / (有) カイカイキキ / TOTO (株) / (株) 電通 / (株) 福助 / (株) ヨウジヤマモトグループ / (株) エイ・ネット / (株) アルテリア / (株) 河淳 / (株) ニッポン放送 / (株) 良品計画 / (株) イデアインターナショナル / (株) AC デザイン / (有) テラダデザイン一級建築士事務所 / (株) DNP 住空間マテリアル

順不同

課外講座

空が主宰の課外講座です。様々な分野で活躍する方々をお呼びして年間を通して課外講座を行っています。



講義集会

津村耕佑教授による各分野で活躍するクリエイターや経営者を招き講義を受けるだけでなく、集会の様に話し合いをもつなかで新たなインスピレーションを得ようという企画です。

- 第1回 山川冬樹、第2回 八谷和彦、第3回 遠山正道、第4回 exonemo
第5回 田中杏子、第6回 アレクサンダー・ゲルマン、第7回 石上純也
第8回 甲野善紀、第9回 鈴木康広、第10回 諏訪稜子、
第11回 土佐信道（明和電機）、第12回 渡邊康太郎（takram）
第13回 高橋理子、第14回 天明屋尚、第15回 遠藤一郎
第16回 ミーシャ・ジャネット



instigator

片山正通教授による、現代を牽引するスタークリエイター、すなわち“instigator”の生の声を聞く事で次世代の“instigator”を作り出す為の超ド級レクチャープログラムです。

- 第1回 佐藤可士和、第2回 中田英寿、第3回 NIGO®
第4回 本広克行、第5回 藤原ヒロシ、第6回 名和晃平
第7回 佐野研二郎、第8回 VERBAL、第9回 蛭川実花



寺子屋騒動

寺子屋騒動＝空間演出デザイン学科教授堀尾幸男が各分野で活躍する先輩方を招き講義を開講する課外講座である。

- 第1回 上杉裕世、第2回 三谷幸喜 × 種田陽平



課外活動

小竹ゼミ：高島屋立川店アート・プロジェクト（店内ディスプレイ）「見立ての花たち2」作品展示。同店クリスマス・プロジェクト（店内ディスプレイ）「ノース・ポールからの贈り物」作品展示。三重県鳥羽市商工会議所とのコラボレーション「鳥羽市相違アーティスト・イン・レジデンス」鳥羽市相違町にて「海女」をテーマとした「デイトリップ～僕らのみた海女のまち」作品展示・物販・パフォーマンスを実施。東京日本橋「三重テラス」にて、同プロジェクトの作品展示。堀尾ゼミ・太田ゼミ：東京芸術劇場 ロアード広場 演劇「outside」の公演（堀尾ゼミ＋太田ゼミ合同公演）小泉ゼミ：富山市にて開催された「Living Art in OHYAMA 2013」に参加。六本木 AXIS ギャラリーでの展覧会設営の実習。天野ゼミ：愛知県一宮市機屋工場／岐阜県毛織会館見学。天野ゼミ・パトリックゼミ：学外展「くらし中心～「かたがみ」から始まる2「着る」と「作る」と「かたがみ」展」ATELIER MUJI にて実施。訪問教授：スティーブン・ジョーンズ（Stephen Jones）氏による授業「未知なる自分発見の実験工場」（3年ファッションコース）、課外講座「Source and Inspiration - 起点と着想-」を開催。武蔵野美術大学空間演出デザイン学科学生有志 × 武蔵野市中央区高店会西久保城山会「むちゅープロジェクト」（監督：天野教授）・武蔵野美術大学空間演出デザイン学科学生有志 × 恋ヶ窪駅前市役所通り高店会「恋まちストリート」プロジェクト。

在校生インタビュー

空デの1年生～4年生に
「空デ」について話してもらいました。

1年生
freshman



菊池 遥さん
Haruka Kikuchi

—将来どんなことがやりたいですか？

セノグラフィコースに進もうと考えています。人が感動する場所を作りたくて、今の人は気持ちを直に共有することが苦手なイメージがあります。でも例えばスポーツ観戦で、得点を決めたときに思わず隣の人と一緒になって喜んじゃうみたいな、そういう瞬間を生み出せる場所や空間を作れたらなと思います。

—1年生の第一課題の影絵をやってみて、どうでしたか？

私のグループはなるべく道具を使わずに手や身体を基本に、具体的なストーリーを決めて制作していきました。8人グループのリーダーをやって、最初はどうなることやらと思いましたが、皆と話し合うことで、自分の意見もあったけれど、全然違う意見、全く新鮮な意見も聞いて、新しい道がどんどん広がっていくのが楽しかったです。公開講評で、親や他学科の学生等、色んな人を見てくれて、嬉しかったし、他のグループの発表を見て、すごいなあと思いました。きっとあの場にいる人たちが皆が同じように感じられたのではないかと思います。まさにああいった場に関わることを目指していきたいです。

—今後空デではどんな風に学んでいきたいですか？

セノグラフィコースに行きたいと思っていますが、空デには色々な分野があるので、やりたいと思っていること以外にも体験させてもらえるので、どんどん吸収してうまく自分のやりたいことに繋げていきたいです。苦手意識のある分野も楽しんで自分のものにできたらと思います。

カリキュラム

1年

デザインと空間の関係を考える基礎実習の第一段階として
「身体」を軸に立体的表現の実習を行います。



デザイン基礎Ⅰ
「影絵」



デザイン基礎Ⅱ
「Fashion Matsuri」



デザイン基礎Ⅲ
「構造的な巣」



デザイン基礎Ⅳ
「メリーゴーラウンド」

—将来どんなことがやりたいですか？

人は人とのつながりの中で生きていくのだと思うので、人のためになる、人を幸せにできるようなデザインができればと思っています。具体的には店舗設計に興味があります。依頼主の方が自分の店を持つときて嬉しいと思うんです。その世界観をつくるお手伝いができたらと思います。さらに依頼主の理想も大きく超えるような提案のできるデザイナーになりたいです。

2年生
sophomore



柏木 兼介さん
Kensuke Kashiwagi

—空デではどのように学んでいますか？

空デは刺激的な場所だと感じています。個性的な学生が多いし、色々な考え方を聞くことができる。毎回の課題もアイデアを断定させるようなものではなくて、ゴールを個々にやりたいことに合わせて設定できて、答えの幅が広い。失敗を恐れずにどんどん探求できる、実験できる。自分から答えを探して行動できるので、価値観や人間性も押し上げてくれるように感じています。2年生ではクラス全員でひとつの作品を作る照明実習のあと、自分の興味のある授業を選択できるカリキュラムになっていますが、僕はそれぞれの課題内容を読んでインテリアデザインコースの授業を選択しました。今は根本的なデザインの基礎や考え方を学んで、かたちにしていこうと思っています。一見幅の広いどのコースの授業を選んでも、時には自分にはなじみのない分野でも向かい合ってみることで、将来どこかで生きてくると思います。

2年

空間演出デザインⅡ・Ⅲ・Ⅳは4コースから選択する授業です。

セノグラフィ

空間1（インテリアデザイン）

空間2（環境計画）

ファッションデザイン

セノグラフィ、空間、ファッションの各領域から空間演出デザインを検証しものや空間の必然性、演出効果の基本などを学びます。



空間演出デザインⅠ

【照明実習】



空間演出デザインⅡ・Ⅲ・Ⅳ

【4コース選択授業】



実材実習Ⅰ・Ⅱ

【グループ制作】

3年生

Junior
ファッションデザイン
Fashion Design



狐塚 愛美さん
Manami Kozuka

—将来どんなことがやりたいですか？

私は「生もの」の世界で生きていきたいと思っています。映像とかじゃなくて、生の状況を見てもらえるような世界に関わりたいです。例えばファッションショーの現場とか、企画から最後の現場での作業まで、全部関わって、手を尽くしたいし、見届けたい。元々はセノグラフィがやりたいくて、この学科に入りました。でもファッションショーもまたセノグラフィだと思っているので、今も変わらないように感じます。人をその場でハッピーにできるのが好きで、ショーの非現実な世界からまた日常に戻るような、ギャップがまた好きで。沢山の人の中で、その場で一瞬一瞬を作り上げていかななくてはならないので、空気を読み取る力がつくというか、臨機応変に動けるようになった気がします。皆でひとつのものを作るのが楽しいし、自分の意見だけでなく第三者の客観的な意見が聞けるのもまた頼もしいです。

—空デについて今感じる事を聞かせてください。

空デには4つのコースがあって、私は今ファッションコースにいるけれど、どのコースにいても全部できると感じます。やりようによるというか、あまりコース分けは気にしていないし、根本には一緒の部分があって、何でもできる。何でもできるというのは悩みの種にもなるけど、空デの強みだなあと。学生のうちはとにかく自分の感覚、見る目を鍛えたいと思っています。

3年

セノグラフィ

空間1 (インテリアデザイン)

空間2 (環境計画)

ファッションデザイン

10名の専任教員の各ゼミナールに分かれての実習です。(後期)

各自セノグラフィ、インテリアデザイン、環境計画、ファッションデザインの中からコースを選択し、それぞれの専門領域を広げて行きます。(前期)



セノグラフィ C



空間1 (インテリアデザイン) A



空間2 (環境計画) B



ファッションデザイン B

4年生

senior
小泉ゼミナール
Koizumi Seminar



ホ・ジョンフェさん
Hur Jong Hoe

一これまでと現在、空デでどのように学んでいますか？

3年次編入で空デに入る前には、韓国で設計の仕事に就いていましたが、もっと上を目指したくて留学を決めました。3年生のはじめにはインテリアデザインコースに所属していましたが、小泉先生の仕事に惹かれて環境計画コースの小泉ゼミに入りました。手になじむとか、必ず人の実感や目線を基準にデザインをすることに魅力を感じています。例えば、今ゼミではセカンドハウスの設計という課題をしていますが、どのような人がどういう風に過ごすかを設定した上で、デザインを進めます。模型を作ってプレゼンテーションしますが、ひとつひとつのかたちを使う人の視線できちんと考えていく作業は楽しいです。模型の中に入っていきように見ていくとその面白さが分かってもらえるのではないかと思います。

一社会に対してどう生かしていきますか？

人々がつらい状況の中でも希望を与えてくれることもデザインの役割だと感じています。物理的なものだけでなく、精神的な面で貢献できる仕事だと感じています。自分がしっかり学んで、人々に還元していくことができるようになりたいです。

4年

小竹ゼミ 堀尾ゼミ 太田ゼミ

五十嵐ゼミ 片山ゼミ

小泉ゼミ 鈴木ゼミ

天野ゼミ バトリックゼミ 津村ゼミ

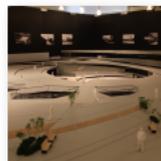
ゼミナール形式の授業となり、より専門分野に特化した実習を行います。
成果の集大成として卒業制作に取り組みます。



小竹ゼミナール



鈴木ゼミナール



卒業制作



卒業制作

空デの入試について

空間演出デザイン学科の「デザイン」の試験は、
昨年と同様に平面色彩構成です。

平成 25 年度一般入学試験より空間演出デザイン学科のデザイン試験が立体構成から平面色彩構成に変更となりました。試験内容詳細やその他の入試については大学より発行している「平成 27 年度武蔵野美術大学 入試ガイド 2015」にてご確認ください。

空 空デのことはココを見て! 空



大学案内 2015

P.36～

学科概要やカリキュラム、
授業内容などがご覧になれます。



造形学部卒業制作 優秀作品集 2015

P.35～

卒業制作から優秀賞に選ばれた
作品が掲載されています。



入学試験ガイド 2015

P.54～

試験問題や出題意図、参考作品
などが掲載されています。



空間演出デザイン学科 ウェブサイト

2012 年度より空デの
ウェブサイトが新しく生まれ
変わりました。教授、卒業生、
在校生のメッセージ映像や、
授業風景などがご覧頂けます。
<http://kuude.musabi.ac.jp>



武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ

2012 年 4 月 2 日より東京
ミッドタウン・デザインハブ
内に、デザインを基軸とした
情報発信拠点『武蔵野美術大
学 デザイン・ラウンジ』を
開設しました。企業・社会・
大学とが更なるつながりを持

つための人的交流の場とし、月 1 回の公開講座
や大学の情報を発信しています。

[開室時間] 平日 11:00-18:00
tel 03-3470-7221/fax 03-3470-7225
d-lounge@musabi.ac.jp
東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー 5F